

JET STREAM

World Cruise 4

コロッセオの落書き／イタリア
FROM THE COLOSSEUM WALLS / ITALY

- | | |
|--|------|
| 1. ミスター・ロンリー | 4:21 |
| <i>AIR TUNNY (G. ALIAN / B. VINTONI)</i> | |
| 2. サンライズ・イリュージョン | 1:25 |
| <i>SUNRISE ILLUSION (T. WATANABE)</i> | |
| 3. エアポート・インターメッツオ | 6:38 |
| <i>AIRPORT INTERMEZZO (E. DARD)</i> | |
| 4. 風の詩 | 3:11 |
| <i>WIND SONG AND... (Y. KURAMOTO)</i> | |
| 5. 惜別のコンチェルト | 3:45 |
| <i>GOOD-BY (M. FARON)</i> | |
| 6. ベニスの夏の日 | 2:23 |
| <i>SUMMER TIME IN VENICE (A. ICINI)</i> | |
| 7. 悲しみは星影とともに | 3:20 |
| <i>ANDREMO IN CITTA (I. VANDOR)</i> | |
| 8. ベニスの愛 | 4:42 |
| <i>AMONIAMO VENEZIANO (S. CIPRIANI)</i> | |
| 9. ひまわり | 2:44 |
| <i>THEME FROM "SUNFLOWER" (H. MANCINI)</i> | |
| 10. 泉のソネット | 3:58 |
| <i>SONNET OF FOUNTAIN (M. KITANO)</i> | |
| 11. ボルサリーノ | 3:48 |
| <i>BORSALINO SWING (C. BOLLING)</i> | |
| 12. カサブランカ | 3:19 |
| <i>CASA BLANCA (B. HIGGINS)</i> | |
| 13. 太陽のかけら | 2:25 |
| <i>DESERT ISLAND (M. HOLM)</i> | |
| 14. 夢幻飛行 | 3:57 |
| <i>MIDNIGHT CRUISE (R. WELLS)</i> | |

ローマ終着駅、古都フィレンツェのミサ、ゴンドラの船歌、サンマルコ寺院の鐘……など、思い出多い旅の音に美しいイーージーリスニング音楽を織り込みました。

イタリアの古都フィレンツェにルネッサンス建築の粋をきわめたとされる美しい鐘塔-ジョットの鐘塔-がある。

その鐘の音が素晴らしいと伝えきいて、ベニスから車でフィレンツェに着いたのが午後2時を過ぎていた。

ホテルで荷を解いて、録音機材をセッティングして鐘塔の前に来たのが午後4時を過ぎていた。

ヨーロッパの鐘の音を聴く、又は録音する場合、鐘が確実に鳴る時間を知る必要があるが、これが仲々難しい。旅のパンフレットを読んでも、たとえばパリの有名な教会サンジェルマン・デュ・フレの記述はくわしいが、サ

ンジェルマンの名鐘が何時に鳴るかにはまずふれてはいない。

それどころか、サンジェルマン教会の近所にあるカフェのボーイや、おみやげ店のおやじさんに聴いても、まず正確な時を知る人は少ないのに驚く。フィレンツェでもそうであった。

「ジョットの鐘がかならず鳴るのは7時に定まっている。その時にミサがあるから」とホテルの人が自信を持って教えてくれた。その人をうたがうわけではないが念のために別の人にきいた。

「時刻通りにも鳴るよ。今から行けば4時、5時、6時、7時とね」

ジョットの鐘は少なくとも4時には鳴らなかった。5時にも鳴らなかった。

教会の中で牧師さんを探したが見あたらず、教会の前にある売店の店主に聴くと、いつも鐘の音を聴いているので何時なのか意識してないという。たぶん夕刻だと苦笑する。

今度は店員が出てきて7時半だと言う。店主

もそうだ、そうだと合づちを打ったあと、又考えて6時45分だと言いなおす。

そしてジョットの鐘は6時をすぎても鳴らなかった。

場所がフィレンツェの中心街にあるので録音機材を設置するだけで、人々が奇異な目で見る。子供が集まってきてわざとマイクの前で口笛を吹く、あげくのはては、ポリスマンが出てきて何をしてるのかと聴くしまつ。

それでも、7時を目標にしてあと1時間は衆目にさらされる覚悟をきめる。

6時20分をすぎると雨が降り出した。あわてて場所を教会の真下に移す。しかし、建物の真下は風が吹く、再び通りをはさんだビルの路地へ移りかけた時、丁度、6時30分にジョットの鐘がまるで頭上から降るカミナリの如く鳴り出した。

(イタリア録音旅行記より)

このCDは1986年に制作されたジェットストリームシリーズの音源を使用し、当時のオーケストラと城 達也氏のナレーションで構成されたものです。

＜CDの取り扱い上のご注意＞●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないよう下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、
る場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、元のケ

に取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで
ール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。＜CDの保管上のご注意＞●直射日光の当た
スに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

■ナレーション：城 達也(1, 4, 8, 13, 14) ■SE入り(2～5, 7～12, 14)
■演奏：フレデリック・ダール&オーケストラ、
ジェットストリームオーケストラ(1～3, 5～14)、倉本裕基(4)